

国立がん研究センター中央病院に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年2月25日

「新規キメラ抗原受容体発現 T 細胞療法開発のための標的抗原探索」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、理事長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6434
研究課題名	固形がんにおける Eph 受容体/Ephrin 発現の臨床的意義の解明と免疫治療のターゲットとしての可能性の探索
所属(診療科等)	国立がん研究センター中央病院(消化管内科)
研究責任者(職名)	高島 淳生(医長)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2027年3月31日(西暦で記載)
研究の意義、目的	日本における罹患数あるいは死亡数の多い大腸がんにおける Eph 受容体/Ephrin 発現を明らかにすることを目的とした研究で、新しい治療の提供に貢献する研究と考えられます。
対象となる方	1999年1月1日から2019年12月31日の期間に共同研究機関で大腸がんと診断された方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など ／生検あるいは手術で採取した試料
他機関への試料・情報の提供方法	搬送、郵送、電子的配信により提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、生検あるいは手術で採取した試料を用いた Eph 受容体/Ephrin 発現の免疫染色結果との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名(研究責任者氏名)	信州大学(責任者:中沢 洋三) 国立がん研究センター中央病院(責任者:高島 淳生)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:中沢 洋三

問い合わせ先	国立がん研究センター中央病院(電話:03-3542-2511) 呼吸器外科 吉田幸弘
--------	---

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。